

有功社シトー貿易 医療現場監修・医療現場をしっかりと護る 段ボール製簡易型診療ブース 『どこでも発熱外来』を販売

医療従事者側



患者側



梱包時

有功社シトー貿易(株) (谷口有三社長、本社=東京・北区) は医療現場監修の段ボール製簡易型診療ブース『どこでも発熱外来』の販売を開始した。

発熱や新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染の疑いがある患者さん対応の段ボール製診療ブースは、飛沫・接触感染対策をしながら、PCR検査・診察をすることができる設計になっている。

『どこでも発熱外来』の特長は、

- ①段ボール製のため、プラスチック、ステンレス、布と比べてウイルスの存在時間が短い*。
- ②医療従事者と受診者を完全分離できるため、接触感染および飛沫感染を予防
- ③受診者のプライバシー保護と効率的な動線の確保によりスムーズな診療が可能
- ④組み立ては1人で約15分、解体は約3分で完了(カットして医療用廃棄物として産廃処分)
- ⑤現場に合わせたカスタマイズにも対応

その他にも聴診器が挿入できるチェストピースや、高温下でのPPE装着による医療従事者への負担を軽減する。

タイプは

- ①標準タイプ
医師側と患者側にテーブルが付属するタイプ。
- ②立位タイプ
仕切り窓と机が標準タイプよりも高い位置に設置。立って検査を実施するPCR検査などにお勧め。
- ③コンパクトタイプ
標準タイプと立位タイプにある医師側がなく患者側のみ。コンパクト設計のため院内の狭いスペースでの使用も可能。

標準タイプは、医師側サイズ：W90×H175×D60cm。患者側：W90×H175×D122cm、テーブル：W90×H70×D30。重量11kg。採光窓付天板、手袋が1セット付属。100×102×19cmのコンパクト梱包

*出典：公立陶生病院感染症内科武藤義和先生講演「新型コロナウイルス Now」より



陰圧用配管口



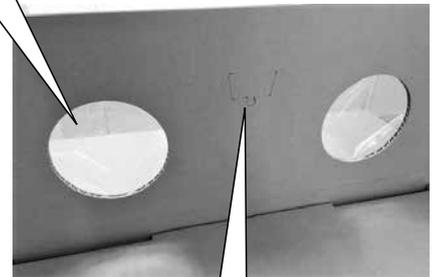
段ボール製ブース



天板

飛沫感染防止用透明板窓付き
(アルコール消毒可能)

触診用挿入孔



チェストピース
挿入孔

設置事例



医療従事者側



受験者側



フィルムを貼る必要はありません

『どこでも発熱外来』設置事例
PCR検査センター

